

Attention For Customer

原稿制作・ 進行上のお願い

集英社は純広告送稿のオンライン化を強く推奨致します

弊社では現在オフラインで入稿されている広告主様にも、メリットの多い「オンライン送稿」を強くお勧めします。これは、株式会社デジタルSEND/日本電気株式会社の2社連合が開発したオンライン送稿システムサービスと契約することによって送信可能になります。

オンライン送稿になると、

- 1.入稿の手順が全てオンライン上で行えるようになります
- 2.原則的には校正の出ないワンウェイフローとなります

オンライン送稿化によって、次のようなことが可能になります。

1 入稿〆切の後倒し

時間短縮により雑誌広告の〆切が後倒しにできるため、よりタイムリーな出稿が可能になります。

2 原稿の色味の安定

JMPAカラーを使用するため、従来よりも掲載の色味が安定します。

3 制作・校正作業の効率化

雑誌ごとに色校正を行う必要がなくなり、作業の省力化につながります。

4 入稿にかかっていた諸コストの削減

製版コスト、記録メディアのコスト、メディアを配送するコスト、校正の出力コストなどが削減できます。

オンライン送稿に対応するデータ形式はJ-PDFのみです

■ **スケジュール** 集英社広告部ホームページ[AD NAVI]でご確認ください。

<http://adnavi.shueisha.co.jp>

■ **制作ルール** 雑誌広告デジタル送稿推進協議会HPからダウンロード可能です。

<http://www.3djma.jp/>

ご確認・ご質問があれば広告部までお問い合わせください。03-3230-6201

01 オーダーに関して

オーダーの締切は各媒体によって異なります。
以下の目安を参照のうえ、各担当者までお問い合わせください。

【純広オーダー締切の目安】

月刊・グラビア誌	発売日の40~45日前
月刊・コミック誌	発売日の40日前
月2回・隔週刊コミック誌	発売日の40日前
週刊誌① (週刊プレイボーイ)	発売日の4週間前
週刊誌② (週刊少年ジャンプ・週刊ヤングジャンプ)	発売日の40~45日前

※上記はあくまでも目安となります。締切時期の直前・直後にかかるお申し込みの場合は、ご発注以前に必ず弊社担当者までご連絡ください。
※GW、お盆、年末年始等、印刷会社のスケジュールが大きく変更する時期に関しては、オーダー締切も上記より早まります。ご注意ください。

02 進行スケジュールについて

進行のペースは各媒体ごとに異なりますが、以下の目安をご参照されたうえで、各担当者までお問い合わせください。

入稿形態	校了日(締切日)
オンライン	発売日20日~25日前
J-PDF	オンライン校了日の1日~2日前

※2012年4月よりJ2は廃止になりました。

オンライン・J-PDFの制作ルールに関しては

雑誌広告デジタル送稿推進協議会ホームページ(雑誌デジ送ナビ)をご参照ください。

<http://www.3djma.jp>

具体的な進行スケジュールに関しては、集英社広告部ホームページ『AD NAVI』上で、随時更新してまいります。下記URLをご参照ください。

集英社広告部ホームページ

<http://adnavi.shueisha.co.jp>

The screenshot shows the Shueisha Adnavi website interface. At the top, it says 'SHUEISHA ADNAVI' and '集英社・広告部・広告媒体ニュース'. Below that is a navigation menu with 'MENU' and '集英社 雑誌・デジタル 一覧'. The main content area features a large advertisement for 'SPUR White Wedding' with the headline 'SPUR White Wedding ご協賛のご案内' and '6月号(4/22発売)'. Below this is a section for '【最新】ニュース・トピックス' with a 'もっと見る >' link. There are four thumbnail images for different magazine issues: MAQUIA ONLINE, BAILA & @BAILA, SPUR 6月号 White Wedding, and T JAPAN 第9号. Below the thumbnails is another 'もっと見る(ニュース・トピックス一覧) >' link. At the bottom, there is a section 'from編集部' with a thumbnail for '最新号特別付録は eclat×ストラスブルゴ 大人のトートバッグ!' and 'eclat 2017/03/01'. Below that, it says '9866人が証明!'.

※AD NAVI上では、進行スケジュールのほかにも各媒体の情報や特集予定をご覧いただけます。また、最新のタイアップ事例のご紹介、イベントのレポートなども行ってまいります。

広告会社様用

ログインID **adnavi**
PASSWORD **2000**

(いずれも半角英数字入力をお願いします。)

03 原稿審査に関して

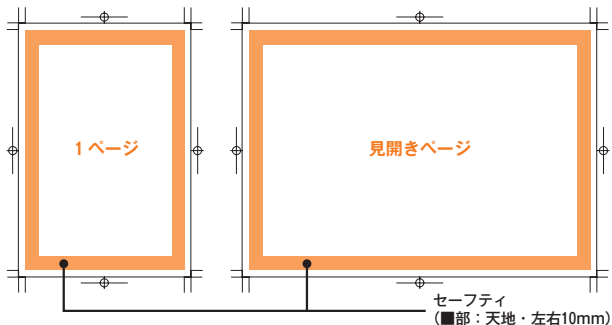
- 弊社の媒体に初めて出広されるクライアントに関しては、事前に原稿の審査をさせていただくことがあります。ご了承ください。
- タイアップ風の記事広告、編集ページと似た構成の記事広告、および日本雑誌広告協会・雑誌広告掲載基準、その他法規に抵触するおそれのある広告に関しても同様に事前の審査をさせていただく場合がございます。ご了承ください。

04 入稿時の諸注意

1 追い込み(セーフティ)

●製本上、三方断裁の作業がございますので、原稿作成の際は天地・左右に追いこみ(セーフティ)を設けてください。追いこみ(セーフティ)は仕上り寸法の天地左右から、切れてはいけない文字・ロゴ・写真等に対して10mm以上とるようお願いします。

※無線綴じ・平綴じの場合：原稿サイズ=仕上り寸法となりますので、追いこみ(セーフティ)は原稿の天地・左右から各10mm以上お取ください。



※中綴じの場合：センター折に近づくにつれ、左右の仕上り寸法が短くなつていきます。これにともない左右の追いこみ(セーフティ)も大きく変化しますので、1ページの原稿は各媒体の料金表に表示したサイズをご確認ください。センター見開きページの原稿は左右の小口から各20mmずつ追い込み(セーフティ)を設けてください。

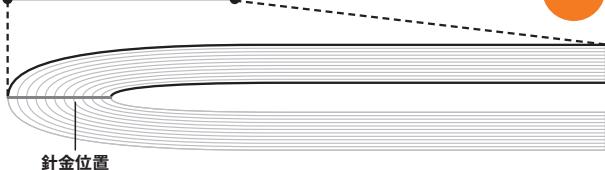


正面

例『ヤングジャンプ』の場合

一番外側の折と、一番内側の折では最大で15mmの仕上り寸法差が生じます。

側面



2 印刷の特質

●グラビア印刷は、その特質上(用紙の薄さ、紙の伸び縮み、高速輪転印刷等)、印刷時に若干の見当ずれが生じます。レイアウトの際、13級(9ポイント)以下の文字・表罫などに対して3色の掛け合わせ・抜き合わせ・白抜き等は避けてください。

●ジャンプ・マーガレット・YOUなど活版印刷ページで使用する紙焼きは、スクリーン線数65線で通常お願いしております。しかし、写真・絵柄については、55線の製版でないと、紙質にあわずツブレ・汚れが出ることがあります。また、10級(7ポイント)以下のヌキ文字はつぶれますので、使用を避けてください。

3 現在のデータ形式は1種類のみ

データ形式	JMPAカラー	ファイル形式	原稿の送稿	備考
J-PDF	JMPAカラーに準拠している(=色味を確認できる)	PDF	オンラインまたは4点セット※	最も推奨されるデータ形式。オンライン送稿にも対応する唯一のデータ形式。

J2は2012年3月末をもって終了いたしました。

(注)特殊仕組やハガキに関してはJ2の運用も可能です。

※4点セット：原稿データ、出力見本、データ仕様書、プリフライトレポート(P77参照)

以下のデータ形式は既に終了しています。

データ形式	JMPAカラー	OSバージョン	ファイル形式	原稿の送稿	備考
J2	JMPAカラーに準拠している(=色味を確認できる)	Mac OS X (10.2.8~10.4.x)	EPS	3点セット※	2012年3月に廃止。
J1	JMPAカラーに準拠している(=色味を確認できる)	Mac OS 9 (9.2.2以下)	EPS	3点セット※	
F2	JMPAカラーに準拠していない(=色味を確認できない)	Mac OS X (10.2.8~10.4.x)	EPS	3点セット※	2010年12月に廃止。
F1	JMPAカラーに準拠していない(=色味を確認できない)	Mac OS 9 (9.2.2以下)	EPS	3点セット※	

2018年内に、現JMPAカラー-3.01の次期バージョン「JMPAカラー-2018」がリリースされる予定です。DDCPに対するマッチング精度を向上させ、より安定した運用を目指すものです。評価画像の見直しなどマッチングツールも改良される予定ですので、ぜひご活用ください。

4 JMPAカラー原稿制作の導入方法

JMPAカラーに対応したDDCP（プリンタ）の環境を準備するには

- 方法1** ▶ 既にお持ちのプリンタがJMPAカラーに対応しているかメーカーにご確認ください。
JMPAカラー対応DDCPとして必要なセッティングはメーカーにご相談ください。
- 方法2** ▶ JMPAカラー対応DDCPを新規購入する。
- 方法3** ▶ JMPAカラー対応DDCPを所有する会社に出力や制作を依頼する。

1 原稿をJMPAカラーに準拠したプリンタで出力

写真・イラストなどをレイアウトした原稿を、JMPAカラーに準拠し管理されたプリンタで出力。それが最初の校正紙（DDCP）となります。

2 そのDDCPの色味をもとに、原稿を修整

その校正紙（DDCP）の色味がJMPAカラーとしては「正しい結果」となりますので、それを確認しながら、目標とする色味に合わせるためにPC上で原稿を修整します。あくまで、基準とするのは出力された「校正紙」です（PCモニターではありません）。

3 ②を繰り返して、校了

データを修整したら、再度プリンタで出力して、色味を確認します。この繰り返しによって、「JMPAカラーに準拠した原稿データ」が作成されます。最終的に、プリンタで出力された色味が目標通りになったら、データは完成です。
※全工程で、画像のTAC値が320%を超えないように注意してください。

5 現行のPDF制作ルール

2016年2月にPDF仕様書の一部を改定いたしました。それ以前の仕様書をお使いの方は、雑誌デジ送などから再度ダウンロードした仕様書をお使いください。お手元のPDF仕様書が最新のものがどうかは、仕様書の右上の日付をご覧ください。[2016年2月1日]となっているものが最新です。

6 原稿制作方法

はじめに

2016年2月よりルールが改訂され、併用期間が終了し8月1日より新ルールのみとなりました。制作アプリケーション（Illustrator、Photoshop、InDesign）と検証アプリケーション（Acrobat）の使用可能なバージョンは、「Adobeがサポートする最新バージョンとひとつ前のバージョン」のみとなります。
【ご注意】2016年8月1日より以下の各アプリケーションのバージョンは使用できません。Illustrator CS5.5以下、InDesign CS5.5以下、Photoshop CS5.5以下、Acrobat Professional Version 9 及び X

制作環境

■ データフォーマット

Mac版/Windows版 Illustrator 及び InDesignから書き出したPDF形式。雑誌広告デジタル送稿推進協議会が配布する最新の「PDF設定」を利用する。Acrobat Distiller やその他のアプリケーションからPDFを作成しない。

■ 使用システム

Illustrator・InDesignのバージョンに合わせて、それぞれ推奨されるOSを使用する。

■ 使用ソフト

Adobeがテクニカルサポートする下記のバージョンのみ使用可とする。各アプリケーションは最新のバージョンにアップデートする。

Photoshop CS 6 以上 Illustrator CS 6 以上

InDesign CS 6 以上 Acrobat Pro XI 以上

7 雑誌広告デジタル送稿

「JMPAカラー準拠PDF」送稿時の確認事項

1 送稿前の確認

「JMPAカラー準拠PDF」で送稿を行う際には、送稿日までに十分な余裕を設けたタイムインジ（掲載申込時点が望ましい）で出版社に送稿形態やスケジュールなどの事前確認を行う。

【送稿前の注意事項】

事前に広告主、制作会社（製版会社）、広告会社間でDDCPの精度に関し十分な協議を行う。

2 送稿時の確認

以下の送稿物が揃っているかを確認してから送稿を行う。

- ①最終送稿PDFデータと201602C版プリフライトレポートPDFデータが同梱されている「送稿メディア」（CD-RまたはDVD-R）
- ②「JMPAカラー準拠PDF仕様書」201602C版
- ③送稿メディアの最終送稿PDFデータからの「原寸カラー出力物（出力見本であることを明記）」
- ④最終送稿PDFデータに不備がないことが記載されている「プリフライトレポート」のプリントアウト。

2-1 送稿用CD-RまたはDVD-Rの確認

送稿メディアには700MB以下のCD-Rまたは4.7GB以下のDVD-Rを用い、1つのCD-RまたはDVD-Rに1つの最終送稿PDFデータおよび該当原稿のプリフライトレポートPDFデータのみが入っていることを確認する。CD-RまたはDVD-Rに、「JMPAカラー準拠PDF」であることを明記し、以下の記載事項がもれなくラベルに明記されていることを確認する。広告主名、出版社名、雑誌名、発売日、スペース、広告会社名、件名、製版会社（制作会社）名

2-2 仕様書の確認

「JMPAカラー準拠PDF」で送稿を行う際には、「雑誌広告デジタル送稿推進協議会」が発行する「JMPAカラー準拠PDF仕様書」201602C版を使用し、規定のシステムおよびOSのバージョン、規定のアプリケーションおよびバージョンに適合していること、記入項目に漏れが無いことを確認する。

2-3 出力見本の確認

送稿メディアの最終PDFデータから出力された原寸カラー出力物であること、また「出力見本」と明記されていることを確認する。

【送稿時の注意事項】

トンボ幅、追い込み寸法、最低文字数などを考慮した原稿制作が行われていることを確認する。印刷・製本上の注意や特記事項がある場合は、媒体担当者は制作担当者が必ず「仕様書」に記入するように注意を促すこと。返却が必要なのは要返却と記入する。

2-4 プリフライトレポートの確認

プリフライトレポートを確認し、最終送稿PDFデータに不備が無いことを確認する。ただし、追い込み、塗り足し、ノセスキの設定などはプリフライトレポートだけでは確認できないので仕様書にそれらの項目が制作者側で保証していることを確認する。特にインキ総量とノセスキ設定については、制作者がアクロバット・プロの出力プレビュー機能によって問題がないことをチェックしたかを確認する。

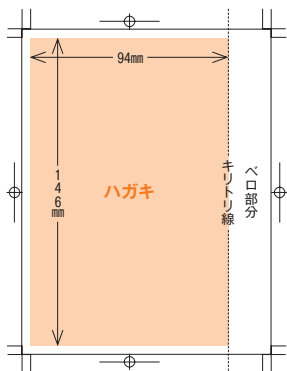
3 仕様書への記入・署名

制作扱い広告会社記入欄、製版会社（制作会社）記入欄に署名されていることを確認し、媒体扱い広告会社記入欄へ署名を行う。

JMPAカラー準拠PDFワークフローに必要な制作ガイドライン、PDF設定、プリフライトプロファイル、仕様書等はこちらからダウンロード可能

雑誌広告デジタル送稿推進協議会 <http://www.3djima.jp/>

05 ハガキの寸法についてのご注意



ハガキの場合、紙どりの制約がございますので、寸法の厳守をお願いします。
 (ペロ部分は印刷所にて調整する場合がございます。)郵便用バーコードとの関係上、原稿の目縮め・目伸ばしは一切行いません。また、天地・左右、小口・ノドのご指定を必ずお願いします。

※ノド側の指定：キリトリ線を設定いただくか、出力見本に「ノド側」を記入してください。

06 QRコードについて

- ①種類 モデル2のみ
- ②セルサイズ 0.35mm以上
- ③バージョン(セル数) レベル9以下
- ④誤り訂正レベル レベルQ以上
- ⑤色数 墨ベタ1色※
- ⑥コード上下左右の余白(マージン) 5セル以上の余白※※
- ⑦拡大・縮小 原寸での使用をお奨めします。
- ⑧入稿フォーマット 解像度は原寸サイズでの使用で300dpi以上データ形式はモノクロ2階調のTIFFもしくはPhotoshop EPS/ Illustrator EPS

※CMYK 4色で作成されたQRコードや色の薄いQRコードは読み取りができない場合があります。
 また、活版は墨ベタ1色でも読み取りができない場合があります。

※※QRコード上下左右の余白は「5セル」以上のアキを確保してください。

●QRコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。読み取り環境や条件によって読み取りが困難になる場合がありますので、注意書きの記載をお願いします。

例

$$\frac{0.35\text{mm}}{\text{セルサイズ}} \times \frac{5}{5\text{セルのアキ}} \times \frac{1.75\text{mm}}{\text{確保すべきアキ}}$$

■部：天地・左右1.75mm

